

「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」2016年度シンポジウム

日時：2017年2月23日(木) 14:00 ~ 18:30 (開場13:30)

- ・Brain Healthcare チャレンジの取り組み内容についてのポスターを13:15頃から会場ホワイエにてご覧いただける予定です。
- ・シンポジウム終了後も30分程度ポスターセッションを実施予定です。

場 所：丸ビルホール(<http://www.marunouchi-hc.jp/hc-marubiru/access.html>)

参加費：無料

■ご挨拶



本プログラムでは、日本発の脳情報産業の創出を目指して、研究開発とイノベーションエコシステムの構築を進めています。本年度シンポジウムでは、脳情報産業のイノベーションエコシステムの構築に関する取り組みを中心にプログラムを用意させていただきました。脳情報のクラウド化の取り組みや脳の健康に良い環境作りの取り組みについての講演の他、本プログラムで進めている脳情報の国際標準化についての報告をさせていただきます。また、2年目となります Brain Healthcare チャレンジの表彰式も行わせていただきます。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

企画・立案 ImPACT プログラム・マネージャー 山川 義徳

■プログラム予定

14:00~14:10	開会挨拶	(内閣府 福嶋 正人 参事官)
14:10~14:25	プログラム紹介 ・プログラム・マネージャーによる全体概要報告	(ImPACT:山川 義徳 PM)
14:25~15:00	「Brain Healthcare チャレンジ」表彰式 ・取り組み概要説明及び実証トライアル結果の発表 ・実証活動の報告 ・審査委員長による表彰	(ImPACT:福田 紘己 PM 補佐) (実証トライアル参加企業) (理化学研究所:渡辺 恭良センター長)
15:00~15:40	「脳情報の国際標準化」 ・ITU-TとWHOの取り組みについて ・ImPACTでのデータシェアリングについて	(慶應義塾大学:川森 雅仁教授 (ITU-T ラポーター)) (ImPACT:岡 宏樹 PM 補佐)
15:40~16:00	休憩	
16:00~16:50	【招待講演】 ・脳の健康維持を支えるクラウドサービス ・ImPACTでの健常者脳情報データベース構築	(日本脳ドック学会:小林 祥泰 理事長) (岩手医科大学:佐々木 真理 教授)
16:50~17:40	【招待講演】 ・まちと住まいの生活と健康 ・ImPACTでの住環境と脳の健康	(建築省エネ機構:村上 周三 理事長) (慶應義塾大学:伊香賀 俊治 教授)
17:40~18:00	閉会挨拶	(理化学研究所:渡辺 恭良センター長)
18:00~18:30	ポスターセッション(企業向け取り組みの紹介、Brain Healthcare チャレンジポスター発表)	

■本プログラムについてのお問い合わせ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構 革新的研究開発推進室 tel: 03-6272-3658 E-mail: impact-ymk@jst.go.jp